

木の身体測定

ねらい 気に入った木の生長を観察することで、木を身近に感じよう。またその木の特徴や構造を知ろう。

時間 90分

場所 1本立ちの木のあるところ

人数 一人・数名・数十名

季節 いつでも

用具 厚紙／ストロー（やや太め）／糸／セロハンテープ／五円玉／巻尺

手順

平らなところに1本だけ生えていて、てっぺんが見える木を探そう！

1. 準備したものを並べよう。まず、ストロースコープという木の高さを測る測定器をつくります。
2. 厚紙で、角度が90度、45度、45度の三角形の台紙をつくります。ストローを三角形の一番長い辺の長さに合わせて切って、そこにセロハンテープではります。
3. 底辺の1つに穴を1つ開け、次に五円玉を糸で通し、画用紙の穴に結びます。
4. 次に、木をまっすぐ見たときの、地上からの自分の目の高さ自分の歩はばの長さが何センチか測ります。
5. 木を測るときは、ストロースコープの五円玉を結んでいる糸は画用紙の辺からはなれないようにします。五円玉は重りになるよ。
6. ストロースコープのストローの穴をのぞき、45度の角度で木のてっぺんが見える位置を見つけて地面に印をつけておこう。
7. 木からまでの位置を「歩はば × 歩数」あるいは巻尺で測り、それに目の高さ（子どもは約1メートル）を加えたものが木の高さにります。
8. 木の直径も測ってみよう。胸の高さの位置で木の幹まわりを巻尺で測り、その長さを円周率（3.14または3）でわれば直径が出ます。

ポイント

木の種類を調べたり匂いをかいだり、幹を触ってみたり健康状態などを見てみよう。測る月を決めて年ごとに測ると、木の生長がわかるよ。また大きな木を測ってみて、測定値を比べてみてもいいね。そのほか、測った木と虫や鳥などの生き物とのかかわり、地域の人とのかかわりなども調べてみよう。ワークシートに記録しておくといろいろなことがわかるよ。

